

香美町総合戦略の評価・検証について

(令和4年度)

1. 趣旨

P D C A サイクルの4つの視点を政策実行・検証の過程に取り込むことにより、継続的な改善を推進する進捗管理をとり、今後の施策や事業の改善に活用するとともに、外部評価組織による評価を行うことで外部の目を確保しながら、客観的に基本目標や重要業績評価指標の進捗状況の把握を行います。

2. 住民基本台帳による人口動態

基準日：1月1日

		令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
総人口		17,845	17,338	16,898	16,452
前年比増減 (c) + (f) + (i)		△ 331	△ 503	△ 445	△ 446
自然増減	出生者数 (a)	103	73	61	53
	死亡者数 (b)	274	319	285	286
	増減 (c) = (a) - (b)	△ 171	△ 246	△ 224	△ 233
社会増減	転入者数 (d)	328	287	267	285
	転出者数 (e)	473	538	490	496
	増減 (f) = (d) - (e)	△ 145	△ 251	△ 223	△ 211
その他増減	その他増 (g)	5	6	5	2
	その他減 (h)	20	12	3	4
	増減 (i) = (g) - (h)	△ 15	△ 6	2	△ 2

3. 進捗状況等の概要

(1) 各基本目標における数値目標の達成状況

基本目標Ⅰ 香美町における安定した就労の場を創出する

	R2	R3	R4	R5	R6	R7	合計
新規就労者数 6年間(2020年度-2025年度の累計)で70人	8人	5人	-	-	-	-	13人

基本目標Ⅱ 香美町への新しい人の流れをつくる

	R2	R3	R4	R5	R6	R7	合計
若い世帯の新たな移住 6年間(2020年度-2025年度の累計)で90世帯	6世帯	10世帯	-	-	-	-	16世帯

基本目標Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

	R2	R3	R4	R5	R6	R7	-
年少人口(0歳~14歳) 2025(R7)年度に1,650人を維持	1,632人	1,559人	-	-	-	-	-

基本目標Ⅳ 豊かな暮らしを守り、周辺地域と連携する

	R2	R3	R4	R5	R6	R7	合計
地域コミュニティ組織の確立	1箇所	0箇所	-	-	-	-	1箇所

(2) 各基本目標ごとの重要業績評価指標(KPI)達成状況

	令和2年度		令和3年度	
	達成済	未達成	達成済	未達成
基本目標Ⅰ	0項目	8項目	0項目	8項目
基本目標Ⅱ	0項目	4項目	0項目	4項目
基本目標Ⅲ	0項目	5項目	0項目	5項目
基本目標Ⅳ	0項目	2項目	0項目	2項目

(3) 各基本目標における成果指標の達成状況

基本目標Ⅰ 香美町における安定した就労の場を創出する

数値目標	K P I	令和3年度末実績	令和2年度からの累積	達成状況
実質化したプラン	15組織 [R7年度]	5組織	—	33.3%
農地中間管理事業取扱面積	70.0ha [R7年度]	56.20ha	—	80.3%
集落営農組織数	15組織 [R7年度]	11組織	—	73.3%
認定農業者数	45人 [R7年度]	41人	—	91.1%
「ものづくり」6次産業化取扱件数	12件 [6年間の累計]	0件	4件	33.3%
起業・創業支援件数	12件 [6年間の累計]	3件	6件	50.0%
観光客入込数	165.0万人 [R7年度]	75.6万人	—	45.8%
うち宿泊者数	42.6万人 [R7年度]	23.2万人	—	54.5%

基本目標Ⅱ 香美町への新しい人の流れをつくる

数値目標	K P I	令和3年度末実績	令和2年度からの累積	達成状況
人口増減数に対する社会増減数が占める割合	40.00% [R7年度]	62.70%	—	—
空き家活用件数	84件 [R7年度]	26件	39件	46.4%
U・Iターン就職者数	60人 [R7年度]	0人	0人	0.0%
地域おこし協力隊の定住、起業件数	6人 [6年間の累計]	0人	3人	50.0%

基本目標Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標	K P I	令和3年度末実績	令和2年度からの累積	達成状況
出生数	110人 [R7年度]	56人	—	50.9%
婚姻数	45組 [R7年度]	34組	—	75.6%
ワーク・ライフ・バランス推進企業認定数	10事業所 [6年間の累計]	0事業所	0事業所	0.0%
子どものいる世帯のうち、第3子以上を養育する世帯の割合	23.0% [R7年度]	19.00%	—	82.6%
香美町で子育てをしたいと思う親の割合	95.0% [R7年度]	87.00%	—	91.6%

基本目標Ⅳ 豊かな暮らしを守り、周辺地域と連携する

数値目標	K P I	令和3年度末実績	令和2年度からの累積	達成状況
新しい地域コミュニティ組織数	6箇所 [6年間の累計]	0箇所	1件	16.7%
集落点検・集落計画策定件数	上記モデル地区内の集落	0件	0件	—

4. 令和3年度における各基本目標ごとの事業実施状況及び実績、効果「令和3年度総合戦略事業評価・検証シート」のとおり。

5. 外部評価組織（香美町総合計画審議会）における評価

(1) 外部評価組織における評価内容

		総合評価
基本目標Ⅰ	B	各取組内容の実績等が数値目標及びKPIの達成に対してある程度効果をあげているものの、全体的な取組状況や成果に不満を感じる。
基本目標Ⅱ	B	
基本目標Ⅲ	B	
基本目標Ⅳ	C	各取組内容の実績等が数値目標及びKPIの達成に対してあまり効果をあげられていない。次年度における取り組みに期待する。

(2) 外部評価組織における評価に対する所見等（一部を抜粋）

基本目標Ⅰ 香美町における安定した雇用を創出する

- ・香美町の農業の基盤は稲作である。高齢化した山間地の農業は維持・継続に厳しい状況となっている。耕作を認定農業者や集落営農組織に委ねる農家が今後急増すると考えられるので、その対策強化を望む。
- ・水産加工業を取り巻く環境は厳しいため、外国人実習生受入制度を利用して従業員を確保している状況がある。
- ・多業種に渡り小項目の取り組みをすることは大変いいことではあるが、なかなか難しいことだと思う。現段階では、香美町に存在する業種はすこぶる厳しい状況に陥っているし、人手不足のなかで、水産・農業関係誰もが取り組むことは難しいと思う。これからは、特に農業法人であったり、創業・起業をしやすい環境をいかに整えていくかが重要ではないか。
- ・困難であろうが、農業を効率的に業として成り立つような集約営農ができないか一考してほしい。

基本目標Ⅱ 香美町への新しい人の流れをつくる

- ・但馬牛のブランド力の向上とともに、若い畜産農家の増加が見られる。引き続き、U・Iターン及び移住希望者の起業や定住に繋がる施策の強化を期待する。
- ・いかに香美町が住みやすく良い町であるかということのPRの必要性を感じる。今、色々なアンケートや調査等（住みたいまち、子育てがしやすいまち、行ってみたいまち等）がある。香美町も色々評価が高いが、そのような調査がある場合は、町民に協力をお願いすることが必要だと思う。
- ・町民全体としてまとまりが今一つであり、今後の結果が大事だと思う。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止により人流が抑えられてきたので仕方がないが、その間に働き方も様々な方法でできることが分かってきているので、空き家を利用しての仕事のやり方やネット環境を利用してのやり方を「香美町で」とPRすべきだと思う。

基本目標Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- ・達成状況及び自己評価において、令和7年度末での達成が見込まれる目標項目が多くある。今後、香美町を更に活性化させる中心的要因として若い世代の希望を叶える施策強化を期待する。
- ・岡山県北部の奈義町は出生率2.95で奇跡の町と言われている。町予算の15%を子育て支援にあてがっているとのこと。同じような地域環境であるので、視察に行ってみていただきたい。
- ・田舎町に就労している収入アップには限りがあると思うので、町の援助・補助であったり、地域のボランティア等の利活用が出来る場を作っていくことも大事だと思う。
- ・明石市の取り組みである若い世代が移住してまでも出産・子育てをしたいと思う方を参考してほしい。

基本目標Ⅳ 豊かな暮らしを守り、周辺地域と連携する

- ・射添地区以外において、地域コミュニティ設立に向けて地域住民等への啓発活動を期待する。
- ・持続可能な地域づくりについては、今後ますます個々の区ではできないことが出てくる。区長会の議題にあげて討論を重ねた方がよいのでは。
- ・地域コミュニティ組織は町など公主導で進める部分は割とやれていると思う。しかしながら、各区や小さい区分の地区でうまく合区ができたり、そこまでできなくとも合同で行事を行うのは大変なことだと思う。この問題については、先進地を見習うというのは少し違うと思うので、町が進めたい形を住民に理解してもらうことが大事なのでは。
- ・射添地区では多くの人に関わりを持ち、より良い方向に推進しているので評価を「A」としたいところであるが、(KPIの達成状況については) ちょっと残念。コロナ禍が落ち着き、他地区でも積極的に取り組めると良いと思う。

【参考資料】香美町の人口動態

1. 人口ビジョンで掲げる人口の将来展望

	2015年 平成27年	2020年 令和2年	2025年 令和7年	2030年 令和12年	2035年 令和17年	2040年 令和22年	2045年 令和27年
将来人口	18,252	17,180	16,148	15,201	14,316	13,540	12,811

2. 国立社会保障人口問題研究所による将来人口推計

	2015年 平成27年	2020年 令和2年	2025年 令和7年	2030年 令和12年	2035年 令和17年	2040年 令和22年	2045年 令和27年
2013年推計人口	18,122	16,689	15,292	13,792	12,721	11,537	10,388
2018年推計人口	18,070	16,412	14,803	13,282	11,813	10,423	9,077

3. 人口ビジョンで掲げる将来展望人口の「2020年から2025年の人口の差」を各年度に按分した場合の各年の推移

	2020年 令和2年	2021年 令和3年	2022年 令和4年	2023年 令和5年	2024年 令和6年	2025年 令和7年
将来人口	17,180	16,974	16,768	16,562	16,356	16,148

4. 国立社会保障人口問題研究所による将来人口推計の「2020年から2025年の人口の差」を各年度に按分した場合の推計人口

	2020年 令和2年	2021年 令和3年	2022年 令和4年	2023年 令和5年	2024年 令和6年	2025年 令和7年
2013年推計人口	16,689	16,410	16,131	15,852	15,573	15,292
2018年推計人口	16,412	16,090	15,768	15,446	15,124	14,803

5. 人口の推移

	2017年 平成29年	2018年 平成30年	2019年 平成31年	2020年 令和2年	2021年 令和3年	2022年 令和4年	備考
住民基本台帳人口	18,634	18,176	17,845	17,338	16,898	16,452	基準日：1月1日
県推計人口※	17,281	16,919	16,515	16,057	15,753	15,311	基準日：4月1日

※ 国勢調査（H27.10）を基礎とし、毎月県が集計している住民基本台帳法に基づく当該月間の移動数を集計したもの

6. 住民基本台帳による人口動態（外国人含む）（毎年1月1日～12月31日までの異動状況）

基準日	2016.1.1 (H28.1.1)	2017.1.1 (H29.1.1)	2018.1.1 (H30.1.1)	2019.1.1 (H31.1.1)	2020.1.1 (R2.1.1)	2021.1.1 (R3.1.1)	2022.1.1 (R4.1.1)
項目	H27年の動態	H28年の動態	H29年の動態	H30年の動態	R1年の動態	R2年の動態	R3年の動態
人口	19,096	18,634	18,176	17,845	17,338	16,898	16,452
人口増減に対する社会増減が占める割合	50.0%	49.4%	49.3%	43.8%	49.9%	50.1%	62.7%
前年比増減	△ 372	△ 462	△ 458	△ 331	△ 503	△ 445	△ 446
社会増減	△ 186	△ 228	△ 226	△ 145	△ 251	△ 223	△ 211
転入計	333	282	306	328	287	267	285
国内転入者数	305	263	276	298	250	247	280
国外転入者数	28	19	30	30	37	20	5
転出計	519	510	532	473	538	490	496
国内転出者数	498	486	516	445	509	468	466
国外転出者数	21	24	16	28	29	22	30
自然増減	△ 174	△ 233	△ 223	△ 171	△ 246	△ 224	△ 233
出生者数	105	94	85	103	73	61	53
死亡者数	279	327	308	274	319	285	286
その他増減 ※	△ 12	△ 1	△ 9	△ 15	△ 6	2	△ 2
その他増	15	14	6	5	6	5	2
その他減	27	15	15	20	12	3	4

※ 外国人登録や転出入り消し、職権による消除など